



SDGsの達成に向けた日本の祭りと生物多様性保全プロジェクト
第10回ワークショップ

岐阜県神戸町の山王祭から考える 大麻の過去と未来

2022年12月17日(土) 10:00 ~ 15:00

会場：日吉神社 社務所（岐阜県安八郡神戸町神戸1）

※会場は、養老鉄道 広神戸駅から徒歩9分です。
名古屋市からご参加の方は、先着10名様に限り、JR千種駅より朝8時出発で送迎します。

このプロジェクトは、日本の伝統的な祭り（祭礼）に登場する生物（植物・動物・儀礼食など）をとりあげて、人と自然との共生の知恵を学びます。また同時に、近代化とともに変化した自然環境や、そのことによって引き起こされる新たな課題を学ぶことで、伝統知と未来の社会づくりとの結節点を探り、課題解決の担い手を育てます。第10回ワークショップでは、岐阜県安八郡神戸町（ごうどちょう）の「山王祭」で松明（タイマツ）に使われる大麻を通して、麻の歴史と利用可能性について考えます。

参加費

大人600円、中学生以下200円
未就学児無料

参加申込み

QRコードからお申込みください。
WEBサイトは「中部ESD拠点協議会」で検索！
※申込締切：12月14日（水）まで



プログラム

- 10:00 ~ 11:30 第1部：学びのセッション「大麻の利用から考える人と自然の共生」
開会挨拶と趣旨説明：古澤礼太（中部ESD拠点事務局長、中部大学准教授）
講演：「山王祭の魅力」講師：山田一夫氏（神戸山王まつり活性化委員会）
講演：「無害大麻の産業化をめざして」講師：若園和朗氏（日本麻協議会事務局代表）
- 11:30 ~ 13:00 第2部：食の交流セッション「地域食から持続可能性を考えよう」
- 13:00 ~ 14:00 第3部：体験セッション「山王祭のまち歩きと松明素材の畑を見よう」
- 14:30 ~ 15:30 第4部：討論セッション「大麻の今後について議論しよう」
- 15:30 終了



お問合せ

中部ESD拠点協議会 事務局
〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 中部大学国際ESD・SDGsセンター内
E-mail: office@chubu-esd.net TEL: 0568-51-7618 FAX: 0568-51-4736